**6月3日　アクトインディ株式会社　代表取締役　下元　敬道　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

　自分に大変な仕事を与えてくれる企業を探して就職活動をしていたということを聞いて、視点を変えればそのような捉え方もできるのだなと思い、とても新鮮でした。今回の講義を聞いて下元さんは高い志を持っていて、行動力も抜群にあって、素晴しい方であると思いました。また、学生時代のアルバイトが起業するための知識集めであったというお話には本当に驚き、凄いと思いました。明確な目標を立てて、その目標を達成するためには、どれくらいの時間が必要で、何をするべきなのか逆算することで下元さんのように自分のやりたいことができると思うし、充実した生活ができるのだと感じました。今回のお話を聞いただけで終わってしまったら今までと同じになってしまうので、明日から目標を立てて取り組んでいきたいと思います。（経営学部。経営システム科１年）

　“何かをやりたいならば、逆算して具体的な目標を立てる”という言葉を聞いて、すごく感激しました。当たり前のように感じますが、目標を実際に立て行動するかしないかでは夢の実現において大きく違ってくると思います。また、下元さんがアクトインディのHPに未来図を書かれているところも印象的でした。なかなか未来を具体的に想像することはないし、それを自分の中に留めるのではなく、社会に発言しているところが、それだけ下元さんが今のやっていることに自信を持ち、将来に希望を持っているのだなと思いました。また、下元さんの経営理念である“50年後、100年後・・・にもありがとうと言われる会社”“価値を社会に提供してこそ起業”というものに、とても共感しました。ありがとうございました。（経営学部経営システム科学科　1年）

印象に残った言葉いくつもありました。”何かを成し遂げたいというとき、成功する人は具体的に目標を定めている”、この言葉はほんとうにそうだなと思いました。けれども、今の私にその目標を明確にするのは難しいというのが現実だなと普段から思っています。それはまだ本気で自分が目指したい仕事がわかっていないからかなと思います。ただそのほかの言葉にあったように”生きた価値を残すことはかっこいいこと”、”５０年後１００年後も存在してくれてよかったと思われる会社でありたい、働きたい”これは今の私も強く強く感じていることです。下元さんは起業を目指すにあたって起業家の本をたくさん読まれたということで、私も本を読んでさまざまな職種を知って、自分の特技、趣味、性格を生かすことのできるものを探していきたいと思います。具体的に目標をもつために私はそこからスタートしていきたいです。（国際経営 1年）

ゲーム会社に対する痛烈な意見も講義だからこそ聞けたと思います。

また、起業についての話もワタミや繊維会社の話など、就職における自分自身をアピールする方法も参考になりました。

確かにドラマであるような会社におけるヒエラルキーと言いますか、序列における仕事の範囲の固定は存在すると思いますが、僕も自分自身をアピールするうえで、そのような自分のやりたいことをフリーにする会社に選ばれるよう進歩したいです。

高知の近所のおばあちゃんの話で「おかげさま」という言葉は下元さんのおっしゃるとおり大変多くの意味を持っていると思います。

周りのおかげ、ということを忘れていました。

下元さんは極論と言われましたが、非常に現実的で聞き甲斐がありました。

ありがとうございました。（経済学部　経済システム学科１年）

広告代理店に勤務していた時、葬儀会社に対して抱いた怒りをそのまま怒りで終わらせず、それを大きなステップへと発展させる意思の強さに感動しました。“生きた価値を残せる仕事”ということを理念とする言葉と、下元さんがされているサービスがぴったり合わさっていると感じました。また、今回のお話で最も感銘を受けたのは「お陰様で」というフレーズに対するお話です。私たちが今日こうして大学で勉学に励むことができるのも今まで生きて日本、自然に貢献してきた様々な人のおかげであることに気づきました。(経済,国際経済1年)

まず、先生の高校時代のお話から、目標を持って行動することの大切さを学びました。自分は中学時代、何も考えずに、みんなが行くからという理由でその高校を選び、結果自分に合わず、やりたいことも出来なくなり、転校するという選択を選ばざるを得なくなりました。もっと自分の将来についてしっかり考え、逆算して目標を立てそのうえで高校を選んでいれば、転校しなくて済んだだろうなと思いました。そして、先生の起業のお話の中から、本当に価値のあるものを選択する大切さを学びました、というか感動しました。莫大な財産、社会的地位が手に入るかもしれないのに自分の信念を曲げないためにそれを諦める、きっぱりと捨てる決断力は、これから自分も必ず身につけたいと思いました。（経営/経営システム科学1年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

自分で決める機会を増やします。

２年生になったときにアクトインディでインターンシップできるように今年度の生活を送ります。

インターネットを普段の生活でもよく使うので、ネット社会内での広告の効果や拡散能力を調べます。

「いこーよ」の利用ユーザー数がどうしたら増えるのか考えてみようと思います。

（経営学部経営システム科学科１年）

　これまで、様々な経営者さんたちのお話を聞いてきたが、起業に対する考えが２つのタイプあることに気付いた。“すぐにでも起業したほうがよい！”という方と、“いったん責任を負うという仕事ができる会社に就職するのもあり！”という方がいるのだなと思った。おそらく、経験からお話しされているのだなと思うので、どちらも正解なのだと思う。自分としては、後者のほうがいいかなと感じている。どちらにしても、確固たる信念と明確なビジョンの準備はしっかりしなきゃいけないと思った。（経営学部・国際経営１年）

私は「貧しい国に学校を建てたい」という夢がある。まだ夢だ。私も死んだあと誰かの影響に残る価値のある人間でいたいです。今は他社でインターンをさせていただいているので、学業との両立が難しいためインターンはできませんが、今のインターン先である程度の成績を残したら、下元さんの価値観に共感できることがたくさんあったのでぜひインターンにチャレンジさせていただきたいと思います。(経営学部経営学科、２年)

授業スタッフの感想１

　下元さんの起業した”アクトインディ“さんは、葬儀サポートセンターという経営しているのに、親子に着目した取り組みもしているということで、私の経営ビジョンへの大きな刺激となりました。私自身、家族をはじめとする身近な人への孝行をモットーに経営のビジョンを考えようとしていたのですが、葬儀サポートいう全く別物の分野なのに取り組んでいて、こういう考え方もあるのだと思い、とても新鮮でした。また、目標に向けて逆算という考え方は実際に私も意識していきたいと思いました。下元さんのお話が聞けて本当によかったです。

授業スタッフの感想２

今回の下元さんの講義で印象に残ったこととして、“自分にしかできない仕事”を意識するようになったという人が多かったと思います。私自身もその点が印象的だったので共感する部分が多かったです。それと、スタッフの仕事に関してですが、やはり列ごとに役割分担したのはとても良かったと思います。これからもいろいろと工夫を凝らして授業が円滑に進むようにしていければと思います。